



平成25年12月5日
発行：NPO法人釜ヶ崎支援機構
ひと花センター
〒557-0016
大阪市西成区花園北1-2-1
電話：06-6649-7890

ひとり地域にて単身高齢で生活保護を受給している方の社会参加、及び生活支援のプログラムを行う事業として2013年7月にスタートしました。プログラムを通して孤立を防ぎ、地域・社会とのつながりをつくり、ひとりひとりが生き生きと生きられるよう、またそれによって地域が生き生きとなるような活動をめざします。

11月
土曜日の
中心で
ひとみ
センター

ひと花センターが開所して5カ月。地域の中の活動にお声かけいただくことも多くなりました。そんな今月の地域活動の紹介です。



萩之茶屋文化祭
看板づくり



トーンチャイム



今宮地区清掃



こども大運うんどうかい
お手伝い



一本線公園
草むしり



きらつと光る今宮
イマナリ工準備



覚醒剤撲滅
パレード参加

早いものではない。花新南も5号
目で。十二月となり。白い事を
言つたもので。!! 十二月の事を
数え月と言ふんですね!!
さて。十二月の出来事。思い出
す。数えると。覚醒前撲滅。ハ
ードに参加したり。トニチヤム
演奏会を。花セニターで。園
いたり。アマナリエ。電飾の飾りつけ
地域に開放する。日。こどもの里の
運動会。存分に楽しむ。だったです。
人花セニターは。始まる。たばかりです。
こいからが。ますます。楽しみます。
魚池合長。老。



十一月二十八日2回目となる地域開放日「ひと花ゆめひろば」を行いました。事前の準備からはりきるひと花メンバー。当日はわかくさ保育園のこどもたち、地域に住まわれている高齢の方、福祉の仕事をされている方など約50人ほどの方が来てくださいました。次回は12月21日土曜日です。ぜひお越しください。



おはいちやんとこどもたち
いまおえはあおぜいのこどもたちと
あそぶのわ何だう年ふりだろー
なつかしくおもいこどもになつて
いういうなあもちやであそび
一時向あまりのときをたのしくあそび
ました。またスワツツカうおはいちやん
おじいちゃんといわれこどもたちに
おりがみでなかにかえつてあげて
かんばつといわれ
うれしいやう
かなしいやう
鹿島則武

鹿島則武

今日^{こんにち}は運動会^{うんどうかい}子供^{こども}たもほしきあつて
 あれたちも子供^{こども}あたうにはしやきました
 昔^{むかし}をおもえば赤白^{あかしろ}にわかれ
 いろいろのきょうぎやりました
 一等^{いっとう}二等^{にとつ}になつたへうしようひり
 をもうりましたが今の^{いま}子供^{こども}は
 なかつたみたいです
 べつべつにふなひきと借り^か人^{ひと}
 ぎようえうをしました（柳川^{おしかわ}）



11/30 こんども
大らんどラ会



ひと花野菜
コーナー
出店します。

12/7 萩之茶屋文化祭でひと花
やさいコーナー出店します。
場所：仏現寺公園 10：30～



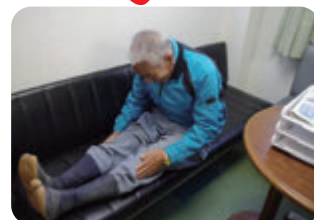
7月から始った農作業体験
参加し、11月末になりました。

皆さんと一緒に作ったにんじん、
小松菜、大根しりた、ねぎ、ブイヨン、
少しづつですが、取るようになります。
今後、たのしみです。

薛日珏一

いけだかずやす
池田一安さん(70才)

朝起きるときには腹筋を使います



1. 腹^{はら}八^{はち}分^{ぶん}目^め
2. 早^{はや}寝^ね早^{はや}起^あ
3. 酒^{さけ}は日^ひ1合^{ごう}
4. タバコは日^ひ15本^{ほん}
4. 薄^{うす}味^{あじ}、薄^{うす}甘^{かん}味^{あじ}
5. 日^ひ1片^{ぺん}歩^あ

ひと花マンバー
長生きの秘けつ

[illegible]

ぼくは、大会社に つとめる、エリートサラリーマンです。のリカえで、うすぐらいガード下
 を通って毎日 同じ、じこくに電車にのって会社に行ってます。ある夏のあつい
 日に ガード下を いそぎ足であるいていると、白いひげをはやした、リカはな
 しんしとがっかりそうになりました。ぼくは おもわず、すみません、と言って、ゆか
 ました。二、三日して ガード下の かなあみの 所に、あのしんしがいきました。
 なにかぶつぶつ いいながら あみの目をよこにかぞえています?。
 よくみていると、はしかがはしにもかって、すぐあみの目を1つ1つ かぞえて
 います。1つ、二つ、三つ、~~~~10~100とぶつぶつ、いいながら かぞえて
 います?。ぼくはなにをして いるのだろうか?と 悪いながら 会社にいそいで
 いきました。夕方 帰る時も まだぶつぶつ いいながら かぞえていました?。
 暑い夏もおわり 秋になりました。あの白いひげをはやしたしんしは、かお'が
 くろくなり、白いワイシャツもくろくなっていました。
 ブツブツ 言いながら あみの目を かぞえています。ぼくはしんしの おとう
 さんは、こはんを たべているのか、しんはいに になりましたが そのまま
 会社にいきました。

絵本のおみやげから
はるる

人生の歩みは二歩一歩前進(池田)
最近の青森県内の景観に驚かす程だ。福山、柳井、若原など。(佐藤)
米になり、さむくなりました。可なり風をぬかすには株々
ずんば、年をこしたりと思っています。(元増)
人生いろいろ日々まじめに生活していればきつと良いことがある。(平栗先生)
体重が減りがザンザン頭返って、深山念へます。(鈴木木)
何も知らずに生きてた頃が俺にゃ一番華やか。昨日の夜更の夢でいて。(式目 祐)

ボラニティ
見学に
ついて

ひと花センターでは見学、ボランティアの受け入れを行っています。また地域内でのボランティア活動も行っています。あいりん地区の近隣地域にある公共施設（公園、道路、学校、保育園、公民館など）の清掃や草刈り、催しのお手伝い等を行っています。くわしくは事務局までお問い合わせください

※公的施設以外の個人依頼は受け付けておりません。

※ひと花センターを利用しているメンバーは65歳以上です。体調に配慮しながら作業を行いますので、期間や時間、場所によってはご要望に沿えない場合があります。